

## (3) ー 1 事業計画と活動概要

## 平成18年度NTC事業活動報告

NTC企画委員会委員長 下野 次男

## 1. 平成18年度事業計画決定までの経過

西九州テクノコンソーシアム（NTC）は、平成18年4月10日に設立されました。その準備作業を行うために、この地域の産学官の有識者25名から構成される設立準備委員会が設置され、平成17年12月19日に第1回委員会が開催されました。この委員会において、設立に必要な具体的な作業を行う作業部会（委員13名）が設置されました。2回の作業部会（平成18年1月16日、2月6日）を経てNTCの事業計画（案）がまとめられ、2月27日に開催された第2回設立準備委員会で決定されました。そして、4月10日に開催された設立総会で、事業企画・実施を担当する企画委員会（委員15名）の設置が了承され、企画委員会で平成18年度事業計画（案）を策定することになりました。第1回企画委員会（5月12日）で5つの事業（技術交流、人材育成、情報発信、ビジョン、基盤整備）を行うことと、それぞれの事業内容を検討するワーキンググループ（WG）の編成が決定されました。各WGで検討した事業計画（案）が第2回企画委員会（6月12日）に報告され、平成18年度事業計画（案）としてまとめられました。そして、6月26日に開催された第1回理事会と第1回総会で、了承・決定されました。

## 2. 平成18年度事業計画と活動状況

事業計画の概要を資料1に示します。3つの事業（技術振興、人材育成、情報発信）と2つの検討事項（ビジョン、基盤整備）に分けて、各WG毎に対応することになりました。

それぞれの事業計画の活動状況を以下に報告します。

## 2-1. 技術振興事業

主な活動として、講演会、パネル展示会、技術相談会、技術交流会を行いました。

講演会は、NTC設立記念講演会として、11月7日にアルカスSASEBOで開催されました。九州大学副学長 村上敬宜氏に「水素エネルギー社会実現に向けた産学官連携による取り組み」と題してご講演していただき（写真1）、主催者側から光武顕佐世保市長と井上雅弘佐世保高専校長から挨拶がありました。参加者284人と盛況の内に終わることができました。



写真1 講演会

講演会と併せて、アルカスSASEBO交流スクエアで11月6日、7日の2日間、ベンチャーサロン・サセボと共催でパネル展示会が開催されました。42の企業や関係機関から出展があり、来場者は820人のぼりました。

技術相談会は、3回実施されました。1回目は、9月29日に佐世保商工会議所を会場に開催され、相談員として工業技術センター（5人）、窯業技術センター（1人）、佐世保高専（1人）から計7人が参加し、10社（13件）の技術相談に応じました。2回目は、10月11日に工業技術センターが実施した小佐々工業団地での研究キャラバンと併催して実施されました。3回目は、11月7日の講演会と併催して実施されました。技術交流会は、今後この地域で強化していくべき技術を模索する目的で計画されました。12月25日には「ICタグ」技術をテーマに実施され、高専と工業技術セ